

# あなた、誰？

一人物に対する見当識障害への対応

認知症  
しち・はち・きゅう  
789  
みんなであそんで  
試して  
学んで

あなた、誰？



認太郎…主人公（認知症）



認太…息子

知子…嫁



認左衛門…認太郎一家のご先祖  
守り神、お助けマン



人への見当識障害  
じゃないな…



\*いつもうまくいくわけではありません。

# あなた、誰？

## —人物に対する見当識障害への対応



### 中核症状 (必ず現れる症状)：見当識障害

見当識障害は認知症の代表的症状です。多くは、「時間がわからない」、「道に迷ってしまった(場所)」、「誰だかわからない(人物)」といった障害の順で出現します。家族をほかの誰かと間違えたり、知らない人と思ったりしてしまうこともあります。「あなたの子供でしょ!」などと感情的にならず、本人を混乱させないために、ときには言われるままに別人を演じましょう。

また、「私が誰だかわかる?」と試すような声かけは、本人の自尊心を傷つける可能性があるものです。もしわからない時は、本人は恥ずかしかったり、申し訳ない気持ちになってしまうので、避けた方が良いでしょう。

このケースのポイント

どうすればいい?

#### 対応法 ①

一旦時間を置いて再チャレンジ。その際には、自分から「息子の○○だよ」と名乗ってみましょう。



#### 対応法 ②

その場その時の本人に合わせてみます。本人が思うその人になりきって会話をしてみましょう。



#### 対応法 ③

笑顔で対応しましょう。本人に、何となくいい人と思ってもらうことが大切です。



認知症の進行に伴い、人に対する見当識が障害されることがあります。認知症になる前をよく知っていて、たくさんの思い出を共有している家族にとって、自分が忘れられてしまうのはとても辛いことです。必死に説明してしまいがちですが、正確に思い出すことは難しい状況です。

家族が必死に説明する状況から、「自分は何もわからなくなってしまった」と落ち込んでしまうかもしれません。誰であるかを正確に思い出してもらうことよりも、大切なのは、「あなたは私の大事な人である」ということを伝えることです。本人が「あれ?」というような表情をしたときは、自分から「息子の○○だよ」と声をかけてあげると良いでしょう。笑顔をもって接しましょう。

— 内科石川医院 石川 至 (認知症サポート医、もの忘れ相談医)

医師からのアドバイス

